

## ◆大人の自然観察会

### ～春の野の花観察～

里山の春の花を中心に、ルーペなどを使ってじっくり観察します。

日時：4月11日(土) 9:30～12:00  
要申込：先着順

### ～のどき見るカタツムリの世界～

おなじみの種から極小サイズの種まで、ルーペで観察します。

日時：6月13日(土) 9:30～12:00  
要申込：5月13日から受付開始、先着順

### いずれも

対象：中学生以上  
定員：20名 / 参加費：100円

## ◆親子はじめての自然観察会

### ～田んぼのまわりの生きものがし～

水辺や草はらにいる生きものを捕まえて観察します。

日時：5月5日(火祝) 9:30～12:00  
要申込：4月5日から受付開始、先着順

### ～夜の生きもの観察～

八幡湿地周辺の夜の生きものを探して観察します。※軽食持参

日時：7月4日(土) 17:30～20:00  
要申込：6月4日から受付開始、先着順

### いずれも

対象：小学生と保護者  
定員：20名 / 参加費：100円

## ◆食育体験教室

### ～田んぼでお米を作ろう！～

昔ながらの湿田で、お米を育てるところから食べるまでの過程を体験する全7回のプログラムです。

※欠席の予定がある場合は要相談

日時：①5月10日 ②5月31日 ③7月5日  
④8月2日 ⑤9月6日 ⑥10月4日 ⑦10月25日  
※すべて日曜日、10:00～15:00実施予定  
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定員：50名  
参加費：4,500円(全7回分)  
要申込：4月1日から受付開始、先着順

## ◆休日さとやま部

### ～新緑ハイクとお手軽バーナークッキング～

新緑のみどり森でハイキングとワンバーナーでの野外クッキングを楽しみます。

日時：5月9日(土) 9:30～15:00  
対象：20歳代～40歳代  
定員：10名  
参加費：100円  
要申込：4月9日から受付開始、先着順

## ◆みどり森ガイドウォーク

当日募集型のガイドウォークです。案内所から大谷戸湿地周辺の見どころを1時間程度でご案内します。テーマは当日になってのお楽しみ！

日時：4/5(日)、4/29(水祝) 11:00～5/23(土)、6/28(日) 13:00～

対象：どなたでも  
定員：15名  
参加費：無料  
要申込：当日10時から案内所にて受付

## ◆里山ようちえん カエル組・オタマ組

子どもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参、お茶とお菓子付き。  
※参加対象年齢がありますのでご注意ください。

### 【カエル組】

日時：6月14日(日) 10:00～13:30  
対象：R2年4/1時点で満4・5歳児と保護者  
要申込：5月14日～5月27日までに

### 【オタマ組】

日時：6月17日(水) 10:00～13:30  
対象：R2年4/1時点で満2・3歳児と保護者  
要申込：5月17日～5月30日までに

### いずれも

定員：20名(応募多数の場合は抽選)  
参加費：親子2名で1,000円、1名追加ごと500円

## ◆わくわく子ども里山キャンプ

自分たちでテント張りや料理をしながら、里山の自然を1泊2日で満喫する、小学生向けのキャンプです。  
※保護者の送迎が必要です。

日時：7月29・30日(水木) 10:00～翌15:00  
対象：小学3～6年生  
定員：20名【申込多数の場合は抽選】  
参加費：9,000円(保険代・材料費)  
要申込：6月2日～7月4日までに

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、イベントが中止となる場合には、HP等にてご案内いたします。

## 博物館からのお知らせ

### ～散策時の注意事項～

園内に咲いている植物は、採取しないようお願いします。特にこれから、たくさんの花が見ごろを迎えますが、採取されてしまうと種子ができず、植物が個体数を増やすことができなくなってしまいます。いまだ、採取により年々減っている植物もありますので、大切に見守ってください。散策・観察マナーにご協力をお願いいたします。



## 博物館の利用案内

### ◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

### ◆アクセス◆

- 公共交通機関をご利用の場合■  
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分「荻原バス停」下車、徒歩約10分
- 案内所までの地図■

右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)



- ご来館時のお願い■  
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。

発行年月 2020年4月  
発行 さいたま緑の森博物館  
住所 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
TEL/FAX 04-2934-4396

開館時間 9:00～17:00 【入館無料】  
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)  
公式HP <https://saitama-midorinomori.jp/>  
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

## 25周年をむかえます

みどり森は、今年の7月に開館25周年を迎えます。四半世紀前、この狭山丘陵で自然保護運動の結果残された貴重な里山環境も、25年間で変化をしながら、みなさんに愛されてきました。

開館した平成7年に生まれた人は、既に社会人となり家庭を持ち、次の世代が生まれているという方もいるかもしれません。そんなことを想像すると25年という年月が長いことを実感しますね。

みどり森では、今年の夏から25周年を記念したイベントを実施予定です。現在、新型コロナウイルス感染拡大により様々なイベントが中止されていますが、今後の情勢をみて、HPなどでご案内いたしますので、是非ともご参加ください。

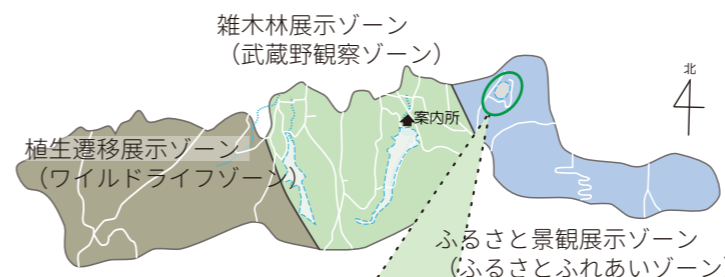
これから先も、狭山丘陵の里山環境を残し、さらにみなさんに自然と親しんでいただける場所であり続けるよう、スタッフ一同も次の四半世紀に向けて頑張りたいと思います。



開館当時(25年前)の案内所

## フィールドミュージアム みどり森 ⑧ ～糶谷八幡湿地～

さいたま緑の森博物館(通称みどり森)の特色は、里山環境そのものを展示とした『フィールドミュージアム』であることです。ここでは、フィールドをエリアごとに紹介します。今回は、**ふるさと景観展示ゾーン(ふるさとふれあいゾーン)**である糶谷八幡湿地についてご紹介します。



ふるさと景観展示ゾーンは案内所がある大谷戸湿地の東側で、所沢市域です。先に開園した入間市域に続く2期整備予定地だったもので、平成25年に開園し、平成27年には新しい園路も開設されました。隣接する三ヶ島湿地は狭山丘陵で最も大きな谷戸です。堂入りの池を源流部とし、その流れは砂川堀りとなります。このゾーンでは多くのボランティア団体がふるさとの景観を残す活動を行っています。

### ～糶谷八幡湿地～

田んぼには、スギの葉でできた大きなトコロさんがお出迎え。



### 【みどころ】

八幡湿地では、糶谷八幡湿地保存会の方と三ヶ島小学校の5年生による稲作が行われています。周辺の雑木林は、保存会以外にも多くのボランティア団体が落ち葉かきなどを行っているため、林床がきれいに整備され、昔ながらの雑木林の景観が残されています。隣接する八幡神社や比良の丘も含めると、八幡湿地とその周辺は、かつて狭山丘陵の里山の景観を凝縮したような場所となっています。



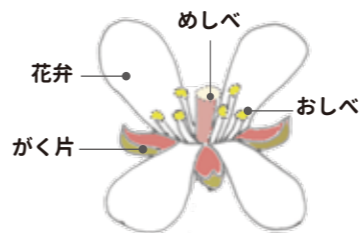
# フラワー 花ウォッチング ~春の草花編~

足元の小さな春の花、見過ごしていませんか？今回は、みどり森で春にみられる草花のうち、昆虫の力を借りる花をとりあげました。小さな花もグッとアップで見ると、端正な作り、虫に花粉を運んでもらう仕掛けなど、驚きがいっぱいです。小さな虫になったつもりで、さあ、ルーペ片手に花をのぞいてみましょう！

## ～花のつくり～

花は、がく片・花弁・おしべ・めしべ  
この4つの基本パーツでなりたちます。もともと葉から変化したものです。

### アブラナ科 タネツケバナ属 タネツケバナ



花のつくりは分類の科や属によっておおよそ決まっています。共通の特徴を知っておくと、知らない花でも何の仲間か知る手がかりとなり図鑑で調べるときに役立ちますよ。

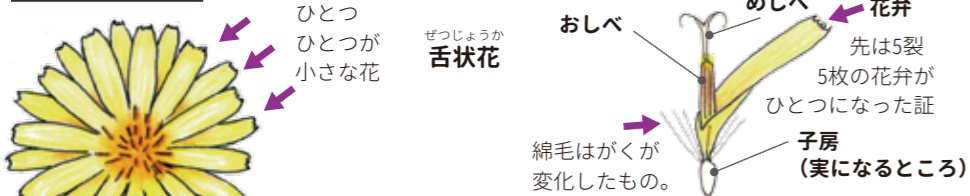
アブラナ科はがく・花弁とも4枚ずつつく十字花。ふつうめしべ1個、おしべは6本。

みどり森で見られる同じ仲間の花と見比べてみよう！  
オオアラセイトウ、ナズナ

## いろんな虫さんwelcome!

様々な種類の虫に立ち寄ってもらえるよう、オープンな花のつくり。

### キク科 タカサゴソウ属 オオジシバリ



① 蜜や花粉を求めてハチやチョウが花の上を歩き回ると、虫の体についた花粉がめしべに触れ、受粉する。

カントウタンポポ  
オニタビラコ

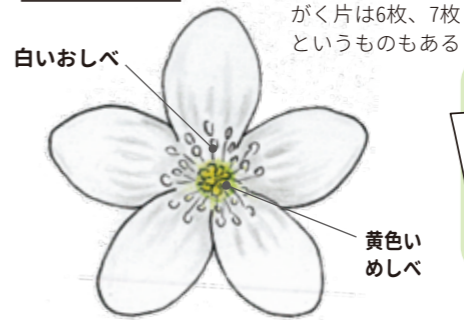
### キク科 ムカシヨモギ属 ハルジオン



① 花弁が目立つ舌状花で外側を取り囲み、花を目立たせ虫を呼ぶ。  
② 中央には蜜の多い筒状花を配置。浅いところに蜜や花粉を用意しているので、口の短いアブやハナムグリにも人気。

ヒメジョオン

### キンポウゲ科 イチリンソウ属 ニリンソウ

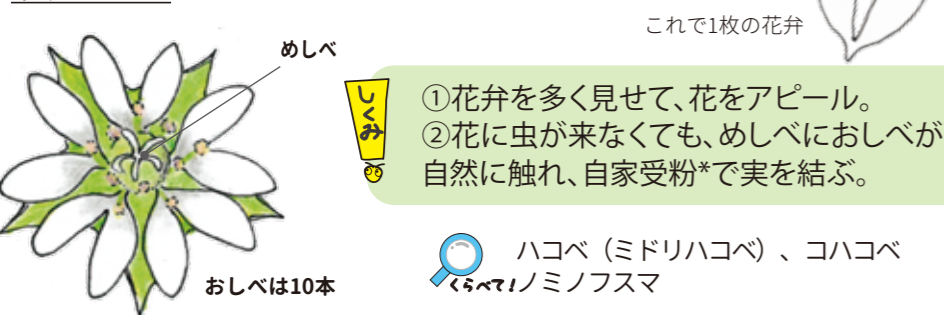


ニリンソウに蜜はなく、虫へのごちそうは花粉だけ。大事な花粉は節約したいから、めしべを黄色く目立たせ、ふつうの花とは逆の配色になっている。

くふう

## 虫が来なくてもダイジョウブ 昆虫に手伝ってもらえなくても、自分だけでも受粉できる花。

### ナデシコ科 ハコベ属 ウシハコベ

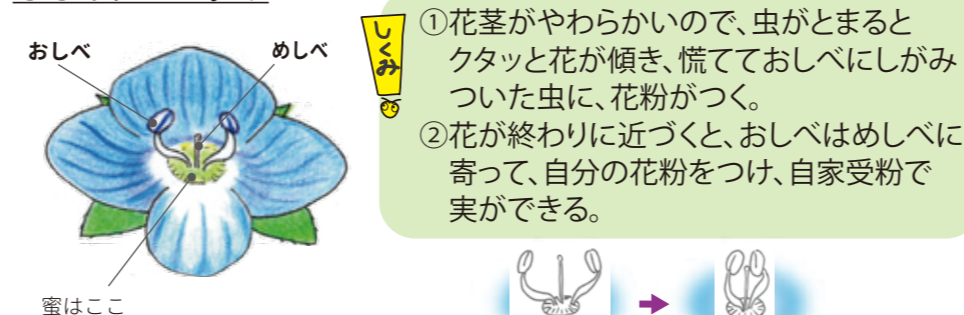


① 花弁を多く見せて、花をアピール。  
② 花に虫が来なくても、めしべにおしべが自然に触れ、自家受粉\*で実を結ぶ。

ハコベ (ミドリハコベ)、コハコベ  
ミノフスマ

\*自家受粉: 自分の花粉で受粉すること。

### オオバコ科 クワガタソウ属 オオイヌノフグリ



朝咲いて、夕方にはしぼむ1日花

① 花茎がやわらかいので、虫がとまるとクッと花が傾き、慌てておしべにしがみついた虫に、花粉がつく。  
② 花が終わりに近づくと、おしべはめしべに寄って、自分の花粉をつけ、自家受粉で実ができる。

くふう

## 虫が頼りの虫媒花

今回紹介した花は、昆虫によって花粉が運ばれる「虫媒花」です。花は虫に来てもらおうと、報酬の蜜や花粉を用意し、さらに花びらや香りでアピールして虫たちを引き付けます。

どんな虫でも蜜や花粉が食べやすい形に進化したキク科のような花もあれば、効率よく花粉を運ぶハナバチだけを優遇する専用の形に進化したマメ科のような花もあります。虫媒花は昆虫とともに多様な形に進化しました。

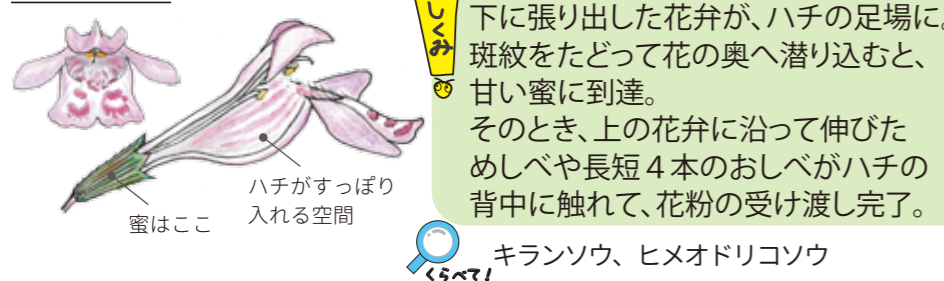
### 自家受粉、する? しない?

虫が来やすい環境に生きる虫媒花なら、虫が他から運ぶ花粉を受粉し、遺伝的に質の良いタネが残せます。おしべめしべの熟す時期をずらして自家受粉を防ぎます。

しかし、虫が来にくい環境では話は別。自分と同じ分身でもいいから自家受粉で確実にタネを残し、質より量が優先されます。

## ハナバチさん専門店 たくさん花粉を運んでくれるハナバチだけを招き入れる花のつくり。

### シソ科 カキドオシ属 カキドオシ



① 下に張り出した花弁が、ハチの足場に。斑紋をたどって花の奥へ潜り込むと、甘い蜜に到達。そのとき、上の花弁に沿って伸びためしべや長短4本のおしべがハチの背中に触れて、花粉の受け渡し完了。

キランソウ、ヒメオドリコソウ

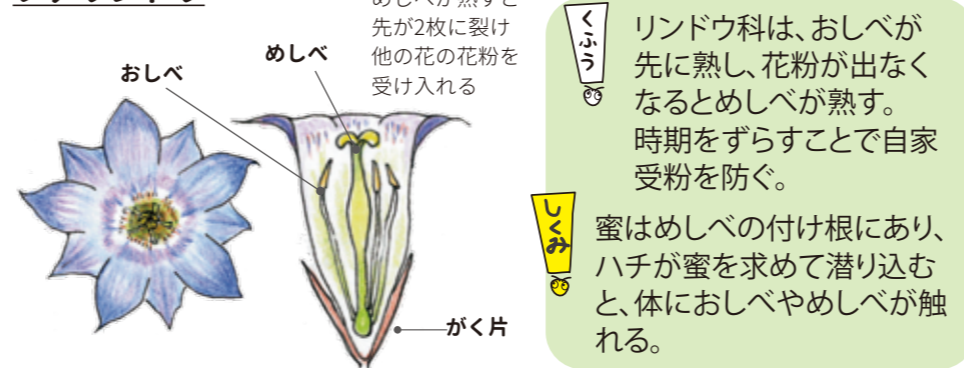
### マメ科 ゲンゲ属 ゲンゲ



① ハチが花をこじ開けようと、一番下の花弁を足で押し下げると、収納されていたおしべめしべが飛び出し、ハチの体に触れる。

シロツメクサ、カラスノエンドウ

### リンドウ科 リンドウ属 フデリンドウ



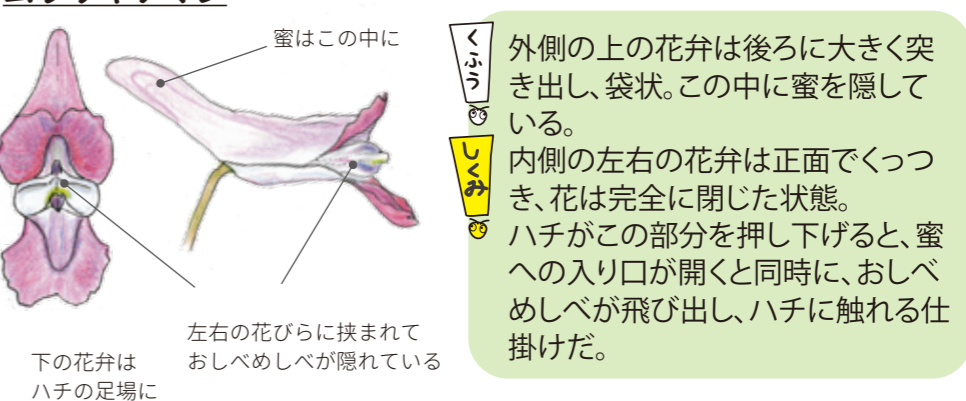
① リンドウ科は、おしべが先に熟し、花粉が出なくなるとめしべが熟す。時期をずらすことで自家受粉を防ぐ。

② 蜜はめしべの付け根にあり、ハチが蜜を求めて潜り込むと、体におしべやめしべが触れる。

### 博物館からのお願い

観察時には、園路外や私有地などに立ち入らないようにお願いいたします。また植物等の採取はせずに観察をお楽しみください。

### ケシ科 キケマン属 ムラサキケマン



① 外側の上の花弁は後ろに大きく突き出し、袋状。この中に蜜を隠している。  
② 内側の左右の花弁は正面でくっつき、花は完全に閉じた状態。ハチがこの部分を押し下げると、蜜への入り口が開くと同時に、おしべめしべが飛び出し、ハチに触れる仕掛けだ。

【参考図書】  
●山溪ハンディ図鑑1増補改訂新版「野に咲く花」(山と溪谷社)  
●「美しき小さな雑草の花図鑑」「もっと美しき小さな雑草の花図鑑」多田多恵子文 大作晃一 写真(山と溪谷社)  
●のぎへんのほん「目で見える植物用語集」石戸忠(研成社) ●「草花のふしぎ世界探検」ピッキオ編著  
●「花のおもしろフィールド図鑑」ピッキオ編著(実業之日本社) (岩波ジュニア新書)